

- 問1 愛知県は日本最大の自動車工業地帯を擁していますが、瀬戸市の伝統産業である陶磁器の技術が、現代の自動車工業にどのように貢献しているといえますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 伝統的な職人の徒弟制度をモデルにして、自動車工場の効率的な労働管理を行っている。 | 2. 陶磁器の成形・焼成技術を発展させ、耐熱性や絶縁性に優れた精密部品を供給している。 | 3. 粘土の採掘で培った土木技術を利用して、自動車工場の敷地造成を行っている。 | 4. 陶磁器の絵付け技術を応用し、自動車の車体における繊細な塗装工程を担っている。 |
|---|---|---|---|
- 問2 ぶどうの生産量が全国1位である県について、その地理的な特徴や農業の様子として最も適当なものはどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 内陸県に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである | 2. 内陸県に位置し、高冷地でのレタスなどの抑制栽培が盛んである | 3. 太平洋側に位置し、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである | 4. 日本海側に位置し、広大な平野で水田単作が行われている |
|------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
- 問3 日本の都道府県別の工業出荷額の内訳において、パルプ・紙・紙加工品の割合が約4.9%を占めており、かつ輸送用機械器具の割合が約25.6%と極めて高くなっている都道府県はどこか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 静岡県 | 2. 愛媛県 | 3. 北海道 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問4 2019年の工業統計において、製造品出荷額の上位を占める愛知県や静岡県に共通する特徴として、最も大きな割合を占める工業部門とその具体的な生産品の内容について説明したものを選びなさい。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 化学工業が中心であり、プラスチックや医薬品などの化学製品を大規模に製造している。 | 2. 金属製品工業が中心であり、建築材料や工具などの金属加工品を製造している。 | 3. 輸送用機械工業が中心であり、自動車やその部品、オートバイなどを製造している。 | 4. 電気機械工業が中心であり、スマートフォンや半導体などの電子部品を製造している。 |
|---|---|---|--|
- 問5 人口密度が1平方キロメートルあたり約4600人と非常に高く、人口が増加傾向にある愛知県のような都市部では、昼夜間人口比率が100%を超えています。このような現象が起こる主な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため | 2. 大規模な集合住宅の建設が周辺部で進んだ結果、夜間に居住する人口が昼間の人口を上回ったため | 3. 出生率が死亡率を大きく上回り、自然増によって年少人口の割合が周辺地域よりも高くなっているため | 4. 観光資源が豊富であり、宿泊を伴わない日帰り観光客が夜間もそのまま滞在し続ける仕組みがあるため |
|--|---|---|---|
- 問6 長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間で、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。 | 2. アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。 | 3. 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。 | 4. 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。 |
|--|--|--|---|
- 問7 中部地方の太平洋沿岸部で行われている、温室やビニールハウスを活用した「施設園芸農業」の利点について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な土地に大規模な機械を導入することで、土地の単位面積あたりの収穫量を増やし、穀物を大量生産できる。 | 2. 自然環境の影響を抑え、気温や湿度を管理することで、季節を問わず計画的に作物を生産・出荷できる。 | 3. 高冷地の冷涼な夏の気候を活かして、他の地域よりも収穫の時期をあえて遅らせることで、競合を避けて高い価格で販売できる。 | 4. 大消費地に近い立地を活かして、収穫したばかりの鮮度が高い野菜を、輸送コストを抑えて市場へ届けることができる。 |
|--|--|---|---|
- 問8 長野県およびその周辺の県（山梨、新潟、静岡）における、消費生活や交通事情の特徴について述べた文として、適切なものを選択してください。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 自家用車保有台数が多く、消費者物価地域差指数が東京圏に比べて低い傾向にある。 | 2. 地価が非常に高騰しているため、消費者物価地域差指数が全国で最も高い。 | 3. 通勤・通学時間は東京圏よりも長い、住宅の広さによって生活の質が保たれている。 | 4. 人口密度が高いため、1世帯あたりの住宅延べ面積は東京都より狭い傾向にある。 |
|---|---------------------------------------|---|--|
- 問9 日本の本州中部の内陸に位置する県のうち、明治時代に官営の富岡製糸場が建設され、現在は北関東工業地域の一部として工業が発展している都道府県はどこか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 埼玉県 | 3. 長野県 | 4. 群馬県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 中部地方の各県における伝統的な地場産業について述べた説明として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 福井県では、会津盆地から伝わった技術を用いた漆器である「会津塗」が、県内最大の地場産業となっている。 | 2. 石川県の金沢市周辺では、京都の伝統工芸である「西陣織」の最大級の生産拠点が形成されている。 | 3. 石川県では、輪島市を中心に、漆を塗り重ねて作られる漆器である「輪島塗」の生産が受け継がれている。 | 4. 新潟県では、岩手県から伝来した「南部鉄器」の技法を応用した、伝統的な金属工芸品の生産が盛んである。 |
|---|--|---|--|
- 問11 岐阜県などの林業が盛んな地域では、人工林の管理において、立木の一部を伐採して樹木の間隔を広げる作業が行われます。日光が地面に届くようにすることで、残された木を健全で大きな木に育てるために行われるこの作業の名称として正しいものを選びなさい。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 下刈り | 2. 植林 | 3. 皆伐 | 4. 間伐 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問12 中部地方の中央部を南北に貫くように、3,000m級の山々が連なる3つの山脈があります。北から順に位置するこれら3つの山脈の名称をまとめ、 「日本アルプス」の構成として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈 | 2. 飛騨山脈、木曽山脈、奥多摩山地 | 3. 奥羽山脈、越後山脈、赤石山脈 | 4. 飛騨山脈、越後山脈、赤石山脈 |
|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|